作成日：西暦　　年　　月　　日

日本予防医学協会で健康診断を受診した方へのお知らせ

産業医科大学では、以下の研究を実施しております。この研究は、日本予防医学協会から提供された健康診断データを用いて、受診者の体重の変化が代謝性疾患および心血管疾患とどのように関連しているかを調査しています。このような研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（令和 3 年 3 月 23 日制定　令和 3 年 6 月 30 日施行)」により、対象となる患者さんのお一人おひとりから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開するとともに、参加拒否の機会を保障することとされています。本研究に関するお問い合わせ、また、ご自身の情報が利用されることを了解されない場合は、以下の問い合わせ先にご連絡ください。利用の拒否を申し出られても何ら不利益を被ることはありません。

１．研究課題名

日本予防医学協会が保有する健康データの記述統計及び解析
～体重割合の変化と病歴に関する後ろ向き研究～

２．研究期間

研究機関の長の許可日～2028 年 3 月末日

３．研究機関

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室

４．研究責任者

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室　講師　谷　直道

５．研究の目的と意義

この研究は、健康診断（健診）を受診した方の体重変化が代謝性疾患や心血管疾患の発生とどのように関連しているかを明らかにすることを目的に、長期に渡る健診データを分析する疫学的な研究です。

若年期からの体重増加を絶対量（kg）で分類し、疾病発生との関連を調査した報告はありますが、これらの報告は若年期の体重については質問紙やインタビューで調査した研究によるものが多く、実測した若年時体重を使用した研究は見当たりません。今回の研究では若年時の体重と中年期の体重の比を取ることによって、中年期までに何パーセント体重が増加すると疾病発生と関連するかを調査します。

この研究を行うことで、若年時の体重から〇kg 増加しないように、というような一律の保健指導ではなく、個別にパーソナライズされた保健指導を行うことができます。

６．研究の方法

健診データ情報は一般財団法人日本予防医学協会の施設健診、巡回健診で収集されたバイオマーカー、問診票の回答などを解析に用いて、体重の変化率と代謝性疾患や心血管疾患の発生との関連性について調査します。

７．個人情報の取り扱い

個人情報の公開はいたしません。データの解析の際には対象者者を特定できないように氏名、住所などの個人情報を全て匿名化します。

この研究は既存の情報を利用するため、対象者からのインフォームド・コンセントは必ずしも必要ではありませんが、研究参加の拒否は自由です。研究への参加にご同意いただけない方は下記問い合わせ先にご連絡ください。研究対象から除外させていただきます。

８．得られた情報の利用目的の範囲

・学術発表など研究目的：あり
・第三者提供：あり（但し、論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
・海外への提供：あり（但し、論文投稿雑誌の要求がある際に限る）
・公的データベース等への登録：なし

９．問い合わせ先

産業医科大学　産業生態科学研究所　人間工学研究室　講師　谷　直道
（TEL：093-691-7458）

10．その他

本研究に参加することによる直接的な利益はありません。また経済的負担や謝礼もありません。本研究は本学の講座研究費により、本学の研究責任者のもとで公正に行われます。本研究の利害関係については、産業医科大学利益相反委員会の承認を得ており、公正性を保ちます。